

1月23日 **スポーツ推進委員【功労者】**  
神谷和枝委員が九州地区表彰



今年1月に長崎県で開催された**第66回九州地区スポーツ推進委員研究大会**で、永年にわたり地域の生涯スポーツ振興に尽力し顕著な成果をあげたスポーツ推進委員として本町の**神谷和枝**委員が表彰され、神谷委員は新垣町長を表敬訪問し、受賞の喜びを報告しました。

旧東風平町時代から数えると21年間スポーツ推進委員の活動を続けてきた神谷委員は「もともと中国武術が好きで習っていて、スポーツ行事に関わることも好きだけど、年齢や体力に関係なく誰でも参加できるニュースポーツも好きです」とスポーツへの熱い思いを語りました。

2月4日 **当銘ていみぐらぐしく会**  
「桜の植樹」で緑化推進



当銘の**ていみぐらぐしく会**（永山保会長）は町民提案型まちづくり事業を活用し、西部プラザ公園を中心とした当銘地域周辺にヒカンザクラ43本を植樹する緑化活動を行いました。

2月4日に行われた植樹祭には当会会員や当銘区民など約50名が参加し、事業で購入した20本の桜の苗木と、記念樹として区民から出資を募って購入した23本の苗木を植樹しました。

記念樹に出資した区民らは、自身や家族の名前を記したプレート苗木に掲げ、楽しみに桜を植えました。永山会長は「今後も植樹活動を継続し、桜の木を将来の子どもたちへの財産として残していきたいです」と話しています。

11月11日 **【東風平中学校】**  
部活動で数々の活躍 代表生徒らが表敬訪問

令和5年度に開催された各部活動大会において好成績を収めた**東風平中学校**の各部活動の代表生徒が役場を訪れ、新垣町長と諸見里教育長に大会成績を報告しました。



**東風平中学校 5年度の主な活躍**

**【九州・全国大会】**

- ウエイトリフティング…第37回全日本男子中学生ウエイトリフティング選手権大会優勝
- 野球…第48回九州中学校軟式野球大会3位
- 女子駅伝…第35回女子九州中学校駅伝競走大会出場、第31回全国中学校駅伝大会出場
- 男子卓球…第52回九州中学校卓球競技大会出場
- 女子バスケットボール…第53回九州中学校バスケットボール競技大会出場
- 水泳（個人）…第51回九州水泳競技大会出場

**【島尻地区・各種大会優勝】**

- ◆女子ソフトテニス（個人）
- ◆男子ハンドボール
- ◆女子ハンドボール
- ◆男子バドミントン
- ◆男子駅伝
- ◆陸上（個人）
- ◆女子卓球
- ◆美術部

1月13日 **西部プラザ公園で植樹活動**  
県内初の「ニッセイの森」



**公益財団法人ニッセイ緑の財団**（清水一郎理事長）は、西部プラザ公園のハープ体験工房前にヒカンザクラやテイキンザクラ、アマミアラカシの苗木44本を植樹し、その区画を「**ニッセイ八重瀬の森**」と名付けられました。

当財団は、全国200箇所あまりの自治体で森づくりのボランティア活動を行っており、県内での活動は八重瀬町が初めて。当日は、ニッセイの森友の会（日本生命那覇支社）を中心に約60名が参加し、株式会社諸見里造園土木の指導の下、植樹作業が行われました。

1月20日 **八重瀬公園で「緑の育樹祭」**



緑化の重要性を普及啓発する令和5年度**緑の育樹祭**（主催 = 県緑化推進委員会・八重瀬町）が八重瀬公園で開催され、県や町の関係者など約150名が参加しました。

「育てよう緑豊かな八重瀬町」を大会テーマに式典では緑化コンクール表彰が行われ、県内の5校・2個人・2団体が受賞しました。また、県緑の少年団連盟代表の**永山歩果**さん（白川小6年）と**前里紅杏**さん（白川小6年）による大会決議が読み上げられ「緑がもたらす命を守り続けていく」と宣言しました。

式典後、参加者らは八重瀬公園の桜の木に肥料をまいて育樹作業を実践しました。

12月22日 **あらしろこども園**  
グリーンベルト植栽活動



あらしろこども園の4歳児、5歳児クラスは環境学習として、宇新城の農地でベチバー（イネ科の植物）計200本を植える**グリーンベルト植栽**活動を行いました。

グリーンベルトとは、畑の周囲や斜面下などに草木を帯状に植えて赤土等の流出を防止する対策のこと。当該活動は、NPO 法人おきなわグリーンネットワークと八重瀬町役場の支援により実施されました。子どもたちは赤土等流出による影響などの事前学習をした後に植栽活動を行い、地域の豊かな自然環境の保全に対して理解を深めました。

1月29日・2月5日 **【東風平小】ごみの行方を学習**



**東風平小学校4年生**はまちのごみの行方を調べるため、町内のごみ収集事業者からごみ収集に関する話を聞き、収集車を見学しました。

児童らは間近で見る収集車に興味津々で、1日に回収できる量やどこに運ぶかなど多くの質問を投げかけました。また、事業者がごみに見立てた風船を収集車に入れて内部の構造を説明すると、子どもたちは普段は見られない光景に大喜びしながら、ごみの収集方法を学びました。